

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー
2013.2.1
No.100 最終号

我が家でホームスクール（以下HS）を始めたのが九年前。そのときにどんなふううにHSをしているのかの報告を兼ねてこの家族新聞エッグプラントを作り始めました。今回で一〇〇号達成です。もう少し正確に言うくと、私が二十五年間小学校教諭をしていたときに出していた学級新聞の名前もエッグプラントでした。さらに、子どもが生まれて、その報告も同じ名前の家族新聞の形で行いました。年賀状も新聞形式で、この形は馴染みのパターンなのです。

前面は、私がメッセージを書き続けてきました。聖書のことを少しでも紹介したいと思い、さまざまなテーマを取り上げました。これまでのバックナンバーは那須家のウェブページにすべて掲載しています。（見方は裏面参照）

今一〇〇号を区切りに終了！

裏面に毎回載せてきた子どもたちの作文も当初の目標は達成できたと思います。今は、それぞれが自分の好む形で情報を発信しており、そろそろ家族新聞を毎月発行するという形は終わりにしたいと思います。また臨時で出すか、何か他の形で近況やメッセージをお届けできればと思います。これまでご愛読いただきありがとうございました。

100号！今までありがとうございました！

私たちの近況報告

私は小学校教諭の職を辞し、もう少しで三年になります。かつての仕事を懐かしく思う暇もないほど、忙しく毎日を過ごしています。

教会外の働きと言えば、コル・シヤロームのコンサート&メッセージ。それ以外にも、ラジオ「聖書と福音」のメッセージのお手伝いがあります。これは日曜日朝七時四十五分からは八時までラジオ関西で放送されているものです。メインのスピーカーは高原氏ですが、私も三カ月に一度、メッセージをしています。これはインターネットでも聞けたり、アイポッドでダウンロードもできたりします。興味のある人は「聖書と福音」を検索してください。高原氏のメッセージは本当に楽しくて、興味深く、為になりますよ。

家内のYは、三女が中学生になり、HSも終盤戦に入ったという感じですが。インターネットのレシピサイトを活用し、いろいろな新メニューに挑戦しては皆の称賛を受けています。

先日、結婚二十五年の銀婚式を迎えました。子どもたちが色紙をプレゼントしてくれたり、料理を用意してくれたりしました。食事の世話から一日解放されたので、夫婦で外出してきました。本当にうれしいことです。



先を見据えて今を生きる

新しい年を迎えてもう一カ月たちました。一年の大まかな計画を立てて、準備していくことは誰もがしていることです。そこには一つの「信仰」が働いています。それは「この一年間、私はこの地上で元気に過ごし、その計画を実行に移すことができる」というものです。私たち人間はまさに、未来を信じ、それに備えて今を生きているものです。聖書もそのようなとらえ方を推奨します。目の先のことにとらわれることはできれば避けたいものです。しかし、聖書がさらに薦めるのは、一年先ではなくて、人生全体、さらに肉体の死の後の永遠についても備えるということなのです。

毎年、十二月に入ると、喪中のはがきが届きます。身近な方の死に直面された方のことを思うと胸が痛みます。さらにシヨックなのは、本人自身が亡くなったということや家族の方から知らせを受ける時です。そういうことがだんだん増えてきました。私に関しても残りの人生はこれから五十年もないわけです。

この限られた時間をさらに有意義に用いる。これを考えるとやはり「聖書の真実」をみなさんに伝えたいという思いに駆られます。私も人から教えられました。それもただで、ですからみなさんにもこの「グッド・ニュース」福音をただで分かち合いたいです。但し、その価値は値をつけることのできないほど無限のものです…。

「…あなたがたは、ただで受けたのだから、ただで与えなさい。」（マタイの福音書十章八節）

聖書に影響を受けた？神道・仏教

昨年は古事記編纂千三百年記念の年でした。(書かれたのは紀元七十二年)その古事記には神々が次々に出てきて、聖書が語る唯一の神と正反対のようには思われるかもしれません。しかし、最初に出てくるこの世界を造った神である「天之御中主神(あめのみなかぬしのかみ)」というのは天地万物の中心、神々の神と言われているのです。神道学者の平田篤胤は「この神は聖書の神と同じ」というようなことを言っています。聖書が書かれ始めたのは古事記よりも三倍近く古い、今から三千五百年前。出来上がったのも古事記よりも六百年も前の紀元百年ごろです。古事記が中国の思想の影響を受けていることはよく言われることですが、当時の中国思想に聖書の影響があつたのであれば、日本は中国を通して、聖書発想の影響を受けていると言えるのです。実際、中国の唐の時代にはすでにキリスト教の寺院が中国にあつたことが判明しています。また、日本の神道の儀式の中に旧約聖書に似ていることがたくさんあるとも言われています。宮の建物の配置、おみこしの形、神主の服装、清めの塩など…。

次に仏教。現在私たちが見聞きする仏教は、開祖とされている釈迦の教えとは随分異なっています。実は釈迦はこう言いたかったのだ、と次々に経典が増えていきますが、それは主に釈迦の死後五百年以上経ってからできたものです。一、二世紀に書かれたという「法華経」という有名な経典は、日本仏教に大きな影響を与えました。その中には聖書の影響を受けたと思われる発想がたくさん出てくるのです。例えば釈迦は「永遠に存在する神」として紹介

こんなことしました！ 行事報告

- 十二月
- 十五日 BCクリスマス会
- 二十一日 いちじく会 クリスマス
- 二十二日 Jクラブ クリスマス会
- 二十四日 ホーリー・クリスマス(緒方姉)
- 二十八日 おもちつき
- 一月
- 三日 教会で食事会
- 四日 金剛山登山(EとR)
- 十二日 R十三歳誕生日
- 十四日 新春合同・聖書の学び会
- 十九日 Jクラブ 餅つき
- 三十一日 T家訪問

されましたが、それまでなかった発想でした。また念仏を唱えるだけで救われるという教えを説いた法然や親鸞も中国の善導という僧の影響を受けています。そして善導は聖書発想に影響を受けた形跡があるので

す。

要は、これこそ仏教独自、日本神道独自と思っていることでも、多分に聖書の影響を受けているようだ、というのです。聖書は外国の宗教書ではなく、人類発想に多大な影響を与えました。そしてそれを学ぶ価値は大いにありますと私は確信しています。

編集後記 エッグプラント バックナンバーの見方…「Nasufamily」で検索してください。我が家のHPがトップに出てきます。右にある「HS通信」をクリックすると出てきます。直接アドレス入れる場合は… <http://nasufamily.web.fc2.com/>

白馬セミナー2012

R

私たち家族は、九回目になる白馬セミナーに行ってきました。今年は、沖縄や北海道などの長野県からは遠い場所に住んでいる友達も来ていてびっくりしました。

今回はずっとやりたかった「(リーダーズイントレーニング)と言って、スタッフの手伝いをする仕事をさせて頂きました。三歳から一二歳までの子供たちをお世話しました。

私は幼児のお世話をすることが大好きなので本当に楽しかったです。

私が初めて白馬に来た時は四歳であまり覚えていません。でも、幼児クラスでおもちゃのお金でお菓子を買う遊び「お買い物ごっこ」がすごく楽しかった覚えがあります。その遊びを今回はお手伝いできたのですごく嬉しかったです。小さい子の面倒を見るのは少し大変でしたが、友達と一緒に一生懸命やりました。

今回は雪も少し積もっていて、大阪では作れない、大きな雪だるまも作ることができて楽しかったです。

ホテルの温泉は露天風呂が気持ちよくて、バイキングも百種類もあって、信州そばと野菜菜などもあり、たくさん食べました。

九年間で一番楽しかった白馬セミナーでした。五月のコンベンションでは、関東の友達とは会えないので、年に一度の白馬が本当に楽しみです。次の白馬セミナーに早く行きたいです。